

障害者支援施設 伏野つばさ園

1 基本方針

ノーマライゼーションの理念のもと、すべての利用者の人権と尊厳を守り、自立した生活を地域社会で営むことを基本とし、個別支援計画に基づき、利用者の希望に沿ったその人らしい生活ができるよう支援する。

また、健康管理等に十分配慮しつつ、生産（就労）活動を通じて社会の一員としての役割を担い「自信と誇りを持って暮らせる」よう、障がい者の地域生活を支える。

2 今年度重点事業目標

(1) 日中活動の充実

ア 自主製造班は、パン工房あさひと菓子工房はまなすと茶房あさひで構成し、効率的な製造・販売を目指すとともに利用者支援の充実を図る。また、新規利用者の獲得も同時に行う。受託作業班は、取引企業との連携を密にし、支援の充実と効率的な職員配置にて作業を遂行する。

イ 就労継続支援B型事業は、適正な定員規模の検討と報酬単価を合わせて考慮し今後の事業について検討する。

ウ 生活介護事業は、働くことの喜びを感じられる活動を基本とし、余暇活動や芸術活動、機能訓練等を取り入れ、潤いのある日中活動を提供する。

(2) 安定的な施設運営

ア 働く、暮らすを支える視点を大切にし、日中活動、生活支援、余暇活動の充実を図る。

イ 施設入所支援、就労継続支援B型、生活介護、短期入所の各事業について、情報発信を行うとともに、関係機関と連携しながら新規利用者の受け入れを進め、安定的な運営に努める。

ウ 全職員が原材料や諸経費に対する意識を高め、健全な経営体制の確保を図る。SNSやホームページを活用した情報公開・PRを行い、収入の確保及び向上に務める。

エ 特別支援学校・医療機関・相談支援事業所と連携し、地域における在宅障がい者の見学や体験利用を積極的に受入れることで、新規利用者の確保に努め、稼働率の向上を目指す。

[目標稼働率：就労継続支援B型75%、生活介護：85%、施設入所支援：97%、短期入所40%]

(3) 工賃の目標

ア 自主製造作業および施設外就労について、利用者の確保および職員の育成に務め、販路拡大や作業技能の向上を図り、収入の増加を目指す。

イ 光熱水費や燃料費等、作業に係る経費の削減に努め、配分工賃の増額につなげる。

ウ 平均工賃15,000円以上を目標とする。

(4) 利用者支援の充実

ア 本人のニーズやアセスメントに基づき、意思決定支援を反映した個別支援計画を作成し、PDCAサイクルにより目標達成に向けた支援を行う。入所利用者に対して定期的な「地域移行等意向確認」を実施する。

本人の意向を尊重し、自立した生活に向けた具体的なステップを個別支援計画に反映させ、地域生活への移行を支援する。

イ 入所利用者においては、嘱託医、協力医療機関と連携し、各種検診を実施することで、成人病等の早期発見・早期治療につなげ、利用者の健康維持に努める。

通所利用者においては、健康チェックを行い家族やグループホームと連携をとり感染症対策を行う。

ウ 職員の資質向上を図るため、資格取得の促進や各種専門研修への参加、園内研修の充実を通じて、専門性の向上に取り組む。

(5) 地域貢献・地域共生社会に向けた取組

ア 地域住民との交流の機会を創出し、アート作品の貸し出し展示やイベント時における菓子・パンの販売等、地域共生社会の実現を意識した取り組みを積極的に行う。

イ 地域の清掃活動等に参加し、美化活動等の社会貢献に寄与する。

ウ 当施設が有する人材や設備等の資源を活用し、地域ニーズに応じた活動を実施する。

(例：菓子・パン教室、自閉症・発達障がい等に関する地域相談 等)